



自治体の地域共生社会向けシステムにF-SOAI搭載 ～ミクロ・メゾ・マクロレベルのデータ利活用によるDXの提案～

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻
 寫末 憲子 准教授

【研究分野】 ソーシャルケア、対人支援 多職種連携、地域包括ケア
 【キーワード】 F-SOAI、生活支援記録法、自治体、福祉相談、地域共生社会、重層的支援、地域課題、DX、ICT
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=198shima>



研究概要 自治体担当者向け

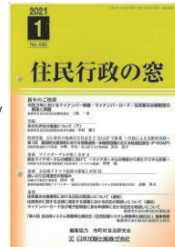
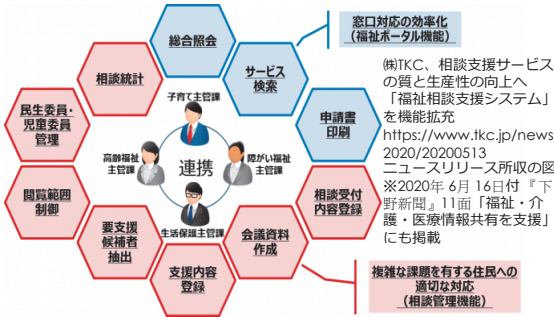
- 対人支援(保健・医療・福祉・介護・保育・教育・心理・司法)の経過記録の方法として F-SOAI(エフソ・アイビー)を開発しました。
- この6項目で、経過記録を漏れなく勘違いなく、効率的に書ける・読めるようになります。
- 行政の相談支援における情報共有、事例検討、OJT、スーパービジョン、リフレクションをはじめ、業務分析などのデータ利活用に役立ちます。

F-SOAIの6項目(実践の可視化:必要最小限)

F Focus 着眼点	ニーズ、気がり等 ※その場を簡潔に→ タイトル ※ケアプランの目標・課題やプランと連動
S Subjective Data 主観的情報	利用者(キーパーソンを含む)の言葉 ※キーパーソンの場合、S(関係や続柄)と表記
O Objective Data 客観的情報	観察・状態や他職種から得られた情報、環境・経過等
A Assessment アセスメント	援助者(記録者本人)の判断・解釈 →気づき・考えた事
I Intervention Implementation 介入・実施した事	援助者(記録者本人)の対応 ※支援、声かけ、連絡調整、介護等
P Plan 計画	当面の対応予定

研究紹介

- 科学研究費補助金による研究代表者として、実務者(介護支援専門員、介護職、ソーシャルワーカー、生活支援員、医師、看護師、作業療法士、理学療法士、薬剤師、栄養士等)、政策担当者(国会議員、行政等)、システムベンダー等へ、F-SOAIの普及・定着に向けたソーシャルアクションに取り組んでいます。 【F-SOAIの社会実装】



F-SOAIテキスト
中央法規出版

↑ 市町村自治体向け福祉相談支援システム

講座テーマ紹介

- 自治体向け：重層的支援体制の実現～多機関多職種の協議体におけるF-SOAIの活用～

アピールポイントなど

- 「生活支援記録法」「F-SOAI」は、商標登録されています。
- 著書：寫末憲子・小嶋章吾『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法[F-SOAI] 多職種の実践を可視化する新しい経過記録』中央法規出版、2020年/分担執筆『ソーシャルワーク記録』誠信書房
- 実践報告：日本加除出版『住民行政の窓』令和3年1月号～4月号連載の執筆者：厚生労働省、生活困窮者自立支援、地域包括支援センター、東京都特別区、福祉事業団、福祉事務所の専門職。
- F-SOAI実践・教育研究所のHPより研修教材等をダウンロードできます。 <http://seikatsu.care>
本シーズの「多職種実践のPDCAサイクルを促進するF-SOAIによる好循環」もご確認ください。